

第四十五回帝國議會 衆議院 家畜傳染病豫防法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十一年二月三日午前十一時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 大林森次郎君

理事 磯田三郎君

伊藤 廣幾君 谷津新八郎君 南 鼎三君

出席政府委員左ノ如シ

農商務次官 田中 隆三君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農商務技師 月田藤三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

家畜傳染病豫防法案

○大林委員長 開會致シマス、前回ニ質問ハ終了致シテ居リマス、御缺席ノ方ガアリマシタカラ、御質問ヲ爲サレマスナラバ此機會ニ願ヒマス——別ニ御質問ガオアリナサラナケレバ直ニ討論ニ移リタイト思ヒマス

(「アリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○大林委員長 御質問ハ無イヤウデアリマスカラ直ニ討論ニ移リマス

○伊藤委員 大體本案ニ付テハ、前回ニ於テ質疑ヲ重ネテ結果諒解ヲ得マシタカラ自分ト致シマシテハ此案全體ヲ一括シテ何等差支ノ點ガアリマセヌカラ原案ニ賛成致シマス

○南委員 私モ大體ト致シマシテハ別ニ異議ハアリマセヌガ、唯家畜ト稱スル中ニ、近キ將來ニ免、猫等ノ如キモ入レテ戴キタイト云フコト、ソレカラ直ニ撲殺ニ著手セズシテ、人間ヲ避病含デ養生セシメルヤウナ方法、其罹病牛ヲ離隔シテ或ル一定ノ期間——避病舍ヲ建築又ハ他ノ方法ニ依ッテ隔離スルト云フ方法、或ハ勅令ハ其時々刻々ニ變ルベキモノデアリマスルガ、成ベク國家ノ責任トシテ、殊ニ牛一頭馬一頭ヲ有スル者ハ、其人ノ全資本デアルト云フ如キ、労働者ノ有シテ居ル牛馬ニ對シマシテハ、特ニ保護的精神ヲ以テ此賠償額ト率、並ニ其原價ヲ増額セシメテ、戴キタイ事ヲ希望條件トシテ私ハ全部本案ニ賛成スル所以デアリマス

○田中政府委員 只今南委員カラノ御希望モゴザイマシタガ、猫、免或ハ其他ニ對シマシテモ、將來飼育ノ狀況ト、又ソレ等ノ畜類ニ關係スル傳染病ノ狀況ニ依リマシテ、種類ヲ増加スルト云フコトニ付テハ、當局ニ於テモ調査ヲ怠ラナイデ、遺憾ナキヲ期シタイト云フ希望ヲ十分ニ持ッテ居リマス、第二ノ御希望ノ成ベク隔離舍ニ入レル、撲殺ト云フコトハ

已ムヲ得ザル場合ノ手段ト云フコトニ付テハ、今日ニ於テモ係ノ者ニハ十分ニ注意ヲ加ヘツ、アルノデアリマス、ソレデ捨テ置キ難イ、已ムヲ得ナイモノニ限ッテノ最後ノ手段デア、テ、助ケ得ラレル希望ノアルモノニ付テハ出來ルダケ大切ニ、所謂隔離法ヲ執ルト云フコトニ注意ヲシテ居リマスガ、尙ホ此上ニモ實行上一層ノ注意ヲセシムルコトニ、當局トシテハ、努メル積リデアリマス、其點モ御含ミヲ願ヒマス、第三ノ生活ノ第一ノ資本トシテ居ルヤウナ牛馬ノ所有者ニ對シテハ、或程度ノ斟酌ヲ加ヘルト云フコトハ、嚴格ナ法律上ノ正面ノ解釋トシテハ或ハ出來ヌ事デアラウト思ヒマス、併シ御承知ノ通り營業者ノ極ク事情ニ通ジテ鑑定員ヲ命ジテ價額ヲ審査スルコトニナッテ居ルノデ、自然人情トシテソレ等ノ人ニ對シテハ餘程寛カク考テ以テ價額ノ査定ニ當ルコトト當局ニ於テモ見テ居ル譯デアリマス、御希望ノ點ニ付テハ十分各關係者ニモ徹底スルヤウニ命ジテ置カウト思ッテ居リマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○大村委員長 他ニ別ニ御異議モナイヤウデアリマスカラ原案ニ決シマス、是デ散會致シマス

午前十一時二十七分散會

大正十一年二月四日印刷

大正十一年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局